

令和4年度事業報告

1. 事業の概要

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置が全て解除されて以降、ウィズコロナの下で緩やかに持ち直し、多くの需要項目でコロナ禍前水準に回復しつつあります。しかし、一方でウクライナ情勢を受けた原材料価格の上昇や円安による輸入物価の上昇により国内物価を上昇させ、家計・企業の活動に影響を与えています。

こうした中、当センターでは、事業目標を達成するため、会員募集のチラシ配布や広報紙への記事掲載等を行った他、ポイントカード制度による会員獲得の促進等、会員の拡大に取り組みましたが、予想以上に退会者が多かったため、年度末会員数は263名となり、目標会員数に達することができませんでした。

また、就業の面では、企業訪問や仕事募集のチラシ等を利用してPR活動を行った他、ポイントカード制度による就業機会確保等、受注の拡大に取り組みました。事業実績は、請負・委任事業の受注件数では事業目標を下回ったものの、派遣事業の受注件数は事業目標を上回りました。また、契約金額においては、請負・委任事業及び派遣事業ともに、事業目標を上回ることができました。

安全就業の面では、就業現場のパトロールを実施するとともに、交通安全教室の開催や、技術向上と安全就業を兼ねた講習会を行う等、会員の事故防止に取り組みましたが、4件の傷害事故と7件の賠償事故が発生しており、引き続き事故ゼロを目指して取り組んでいきます。

普及啓発活動では、機関紙「シルバーふそう」の発行や、ホームページ、SNS、SMS等により情報発信を行いました。また、10月に木曾川扶桑緑地公園でボランティア活動を実施し、63名の参加がありました。

また、女性会員の拡大促進を目的とした女性委員会を発足するため、準備会において検討を進めるとともに、女性会員同士の交流会を開催しました。

以下、事業目標に対する結果、事業実施報告、会員状況、事業実績、事務事業の主なものについて報告します。

2. 事業目標に対する結果

事業目標に対する結果は下記のとおりです。

(1) 会員数	263名	(達成率 89.8%)
(2) 請負・委任事業 受注件数	2,150件	(達成率 86.0%)
(3) 請負・委任事業 契約金額	100,424千円	(達成率 101.6%)
(4) 派遣事業 受注件数	40件	(達成率 102.6%)
(5) 派遣事業 契約金額	23,744千円	(達成率 102.3%)
(6) 傷害・賠償事故	11件	(達成率 0%)

3. 事業実施報告

(1) 会員の増強

新規会員の勧誘、入会促進に努めた結果、25名の入会、29名の退会となり4名減の263名となりました。

- ① 入会説明会は24回実施、37名の参加がありました。その内訳は、毎月第3木曜日に12回実施し、23名参加し16名が入会。女性限定入会説明会として6回実施し、9名参加し6名が入会。出張入会説明会を6回実施し、5名参加し3名入会しました。
- ② ポイントカード制度を活用し、会員の口コミ紹介による入会の促進を行いました。その結果、12名の紹介があり9名が入会しました。
- ③ 会員と職員が気軽にコミュニケーションがとれるように取り組みました。
- ④ 広報ふそうへの会員募集記事を年3回掲載しました。
- ⑤ SNSを利用し、毛筆ペン講習会など各種講習会やこころろルーム開放日の開催など発信しました。また、SMSを利用して、会員作品展、スマホ教室の案内や、芝刈機による事故防止など、会員への情報発信を行いました。
- ⑥ 広報ふそう8月号に会員募集のチラシを折り込み全戸配布しました。
- ⑦ 介護健康課、生涯学習課にチラシ200部の設置を依頼しました。
- ⑧ 老人クラブ等の地域交流会で入会のPRは感染症予防により実施できませんでした。
- ⑨ 町ホームページが更新され、シルバー人材センターへのリンクができるようになったため、バナーリンクの設置は取り止めになりました。
- ⑩ 町広報無線にて、入会説明会開催の案内放送を実施しました。
- ⑪ ホームページ、機関紙「シルバーふそう」に会員募集PRを掲載しました。
- ⑫ 扶桑町制施行70周年記念事業に参加し会員募集チラシ195件配布しました。またシルバーの日のボランティア活動開催時に会員募集チラシを100件配布しました。
- ⑬ 退会会員の抑制を目的としたゴールド会員制度では1名増、2名減の11名となりました。

(2) 就業機会の確保

受注の拡大を図るため、パンフレットを利用して役職員が協力をして、就業機会の開拓に努めました。前年度対比、受託件数は77件減の2,150件、契約金額は4,200千円増の100,424千円となりました。

- ① ポイントカード制度を活用し、会員による就業機会の開拓受注を促進しました。その結果、7件の受注がありました。
- ② 会員と職員が気軽にコミュニケーションがとれるように取り組みました。

- ③ SNSを利用し、毛筆ペン講習会など各種講習会やこころろルーム開放日の開催など発信しました。
- ④ 広報ふそう8月号に仕事募集のチラシを折り込み全戸配布しました。
- ⑤ 介護健康課、生涯学習課にチラシ200部の設置を依頼しました。
- ⑥ 老人クラブ等の地域交流会で入会のPRは感染症予防により実施できませんでした。
- ⑦ 町ホームページが更新され、シルバー人材センターへのリンクができるようになったため、バナーリンクの設置は取り止めになりました。
- ⑧ 役職員による企業訪問を182件実施しました。
- ⑨ 既存職員による企業訪問を318件実施しました。公共施設へ定例訪問して掘り起こしを図りました。
- ⑩ ワンコインサービスについては、会員の状況やサービス内容などを検討しましたが、現状での実施は難しいため取り止めることにしました。今後、サービス提供の方法など、新たな取り組みを検討します。
- ⑪ 機関紙「シルバーふそう」を利用し、会員募集と併せて仕事のPRを掲載しました。
- ⑫ 扶桑町制施行70周年記念事業に参加し仕事募集チラシを配布しました。
- ⑬ ローテーション就業の推進やワークシェアリングの徹底により未就業会員の就業確保に努めました。

(3) 福祉・家事援助サービス及び子育て応援事業の推進

高齢化、核家族化等により地域における福祉・家事援助サービスや子育て応援事業の要望に応じ、前年度対比100件減の174件実施しました。

- ① 町の高齢者福祉サービス事業や高齢者等の生活援助事業を行政と密接に連携を取りつつ事業展開できるよう努めました。
- ② 子育て応援事業「こころろルーム」と子供の一時預かり等の子育て支援事業の受注拡充に努め前年度対比109件減の107件実施しました。

(4) 公の施設の指定管理業務の推進

公の施設の指定管理業務については、適切で効果的な管理運営を行いました。

- ① サングリーンハウス及び高齢者作業所（高雄シルバーハウス）の適切で効果的な管理運営を行いました。
- ② 公共施設で指定管理を検討している施設がある場合は、受注できるよう町に働きかけました。

(5) 職業紹介事業の実施

就業を希望する高齢者に対し、職業紹介事業を実施しましたが、紹介依頼紹介希望ともありませんでした。

(6) 労働者派遣事業の推進

会員の就業機会の拡大の観点から、県シ連と連携して労働者派遣事業の拡大に努めました。

- ① 事業実績は、前年度対比、受注件数は4件増の40件、契約金額は2,060千円増の23,744千円となりました。派遣事業受託収益は、66千円増の2,751千円となりました。
- ② 役職員による企業訪問を18回、182件実施しました。
- ③ 既存職員による企業訪問を318件実施しました。

(7) 講習会の実施

高齢者に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会を実施しました。

- ① 果樹剪定講習会を1回実施しました。
- ② 刈払機取扱講習会を1回実施しました。
- ③ チェンソー取扱講習会を1回実施しました。
- ④ 毛筆ペン講習会を4回実施しました。
- ⑤ 襖・障子張り講習会を1回実施しました。
- ⑥ 刃物研ぎ講習会を1回実施しました。
- ⑦ 救急指導講習会を1回実施しました。
- ⑧ 松剪定講習会を1回実施しました。

(8) 調査研究及び相談の実施

高齢者の就業率の向上を図るため、会員270名にアンケート調査を実施し116名より回答をいただきました。会員と職員が気軽にコミュニケーションがとれるように取り組みました。

(9) 安全・適正就業の推進

賠償事故7件、傷害事故4件の発生がありました。適正就業については、ローテーション就業やワークシェアリングの推進に努めました。

- ① 賠償事故は刈払機などの草刈り作業で3件発生、自動車事故が4件発生しました。傷害事故は転倒による事故2件、蜂による事故2件の発生がありました。
- ② 安全委員会で、就業現場の安全パトロールを4回15ヶ所実施しました。
- ③ 会員の交通安全意識を高めるため、交通安全教室を実施しました。
- ④ 事務局だよりやポイントカード制度等を利用して、町の定期健康診断の受診を促し、自主的な健康管理の自覚を促しました。
- ⑤ 健康相談・健康指導を年4回実施しました。また、休養室の健康増進器具ヘルストロンを活用してもらい、222名が利用しました。
- ⑥ 適正就業については、多くの会員に就業機会を提供するため、ローテーション就業やワークシェアリングの推進に努めました。

(10) 普及啓発活動の推進

様々な機会に、センター事業の目的や活動等を、広く町民にPRし、事業の普及、拡大、会員の増加に努めました。

- ① 機関紙「シルバーふそう」を年2回（7月、1月）発行しました。また、「事務局だより」を年3回（6月、10月、3月）発行しました。
- ② センターのホームページを32回更新し、情報を発信しました。
- ③ 町ホームページが更新され、シルバー人材センターへのリンクができるようになったため、バナーリンクの設置は取り止めになりました。
- ④ SNSを利用し、毛筆ペン講習会など各種講習会やこころろルーム開放日の開催など発信しました。また、SMSを利用して、会員作品展、スマホ教室の案内や、芝刈機による事故防止など、会員への情報発信を行いました。
- ⑤ シルバーの行事情報をマスメディアなどに提供しましたが、記事の掲載はありませんでした。
- ⑥ 介護健康課、生涯学習課にチラシ200部の設置を依頼しました。
- ⑦ 扶桑町制施行70周年記念事業に参加し会員募集チラシ195件配布しました。またシルバーの日のボランティア活動開催時に会員募集チラシを100件配布しました。
- ⑧ 10月15日にボランティア清掃活動を実施し、63名が参加しました。
- ⑨ 県シ連と連携した広報活動を実施しました。

(11) 関係機関等との連携強化

町及び関係機関等との連携を強化に努めました。

- ① 町及び関係機関等との連携を強化することにより情報収集を行い、その情報を活用し、会員の就業に繋げるように努めました。
- ② 県シ連及び近隣センターとの連携を強化し、情報収集に努め、事業の発展拡充を図りました。

(12) 独自事業の調査・研究

新たな独自事業の開拓に向け調査・研究をし、就業機会が創出できるように努めました。

(13) 女性委員会の発足にむけた準備

女性役職員による女性委員会準備会を立ち上げ、既に女性委員会を発足しているセンターの取組みなどを調査し、女性委員会の発足に向けた検討を行いました。事業としては、女性会員同士の交流会「お茶会」を企画し、会員20名の参加がありました。また、愛称募集を行い、13名の応募があり、「扶桑マダム」に決定しました。